

## パトリック・コルベ教授講演会のご案内

この度、パトリック・コルベ (Patrick CORBET) 教授が招聘研究者として来日されることになりました。これを機に講演会を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

コルベ教授は、現在、フランスのロレーヌ大学 (旧ナンシー第2大学) 教授を務められ、学界関係ではロレーヌ大学学術評議員、歴史科学評議会 (Comité des Travaux Historiques et Scientifiques) 委員長を歴任されています。主著としては *Les saints ottoniens. Sainteté dynastique, sainteté royale et sainteté féminine autour de l'an Mil* (紀元 1000 年前後のオットー朝期の聖人：王朝・王・女性の聖性), Sigmaringen, 1986 及び *Autour de Burchard de Worms. L'Église allemande et les interdits de parenté (XIème-XIIème siècles)* (ヴォルムスのブルカルドゥスをめぐって：ドイツ教会と近親婚の禁止、11-12 世紀), Francfort-sur-le-Main, 2001 が挙げられます。その他「中世教会社会史」、「ドイツ中世前期の権力・社会・宗教」、「教会法と近親婚の禁止」、「フランス東部における聖人崇拜」、「シャンパーニュおよびフランス東部における考古学と芸術史」に関する多くの論考を公刊されています。

日時：3月23日(水) 14:00~16:00

会場：東京大学本郷キャンパス法文1号館 215 教室

講演題目：「教会と結婚：近親婚の禁止について (9~12 世紀)」

その後、引き続き質疑応答が行われます。

談話会：東京大学文学部西洋史学研究室：16:00~17:00

フランス語の講演ですが、原稿の日本語訳を配布します。全体討論には通訳が付きません。司会、通訳、講演原稿翻訳は、堀越宏一氏 (早稲田大学) が担当します。

この講演会は、東京大学文学部西洋史学研究室が主催し、科研研究会 (基盤研究 A：代表渡辺節夫、課題番号 25244034) とヨーロッパ中世史研究会 (REN) との共催で行われます。